

北葛だより

みっちゃんの宅配便

今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県議会議員団

奈良市登大路町30奈良県議会内 Tel 0742 (27) 5291

今井 光子 広陵町馬見北3-4-25 Tel&Fax 0745 (55) 8725

今井光子のホームページ「今井光子」[検索](#)

一般会計と2月補正で6047億5400万円 過去最高

「リニア3点セット」等 実現見込みのない 大型公共事業中心の予算に日本共産党は反対

3月25日奈良県議会が終了しました。

新年度予算は一般会計で5503億1000万円、令和3年度2月補正予算と合わせて6047億5400万円となり過去最大となっています。

上程された議案は 令和4年度奈良県一般会計予算を始め知事提出議案及び報告66議案、議員提出2議案が審議されました。

知事は、リニア新幹線的全線開通と奈良市附近駅の設置が15年後に迫ってきたとして、令和4年度から①リニア、②新駅、③トンネル＝「リニア3点セット」、トンネルの土を五條市の計画地の谷を埋めてに2000m滑走路を建設、大和平野中央スーパーシティ構想実現、京奈和自動車道路の大和北道路全線開通の取り組みなどが「今後の奈良県の発展の屋台骨を作るプロジェクト」としています。

新年度予算には、ヤングケアラー対策、子ども食堂への支援、国保の就学前無償化、障害児の通学支援などが盛り込まれ、要求が実現したものがあります。

日本共産党県議団は、見通しのない大型公共事業ではコロナ禍や、物価高に苦しむ県民の暮らしに寄り添っていないと令和4年度一般会計当初予算に反対しました。そして、不要不急の事業、県民の理解を得ていない事業予算を削り、全体予算のわずか0.3%、17億円余の予算組み換えを提案し、県民に優しく強い奈良の経済にする14事業実施を提案しました。【右枠参照】

残念ながら予算の組み替えは共産党以外のすべての会派・議員の反対で否決されましたが、引き続き、主張と取組みをすすめます。

*

●2000m滑走路建設 環境アセスをするべき

今井 1期5割、2期35割、3期72割の大規模開発。1期2期は、法に基づく環境アセス実施の50割未満だが、ゴルフ場と大型建物では全く違う。環境

アセスをするべき。

答弁 地元説明会35回実施。これから防災拠点の運用計画に基づいて任意のアセスを実施し、予測評価をおこないきちんと説明していきたい。

●今井 リニアの土砂を建設工事に使う計画をしているが、リニアの工事が遅れていて、予定通りに可能なのか。いつになるかわからない滑走路建設に巨費を投じるのではなく、防災対策と言うのなら、消防学校建替えや住宅耐震化補助などに予算を使うべき。

答弁 リニアは国家プロジェクトで、予定通りと聞いている。

0.3%の組み替えで これだけのことが出来ます 共産党の予算組み替え提案	大学生給付型奨学金	1億2000万円
	後期高齢者保険料負担軽減	1億円
	こども医療費助成	5億円
	心身障害者医療費助成	6000万円
	ひとり親家庭医療費助成	6000万円
	重度心身障害者老人	8000万円
	国保窓口負担軽減基金	1億円
	介護保険利用料負担軽減	1億円
	県産食材使用給食推進事業	1億円
	商店街リニューアル事業費	1億円
	小規模事業者継続支援事業費	1億7700万円
	住宅リフォーム助成制度	1億円
	小学4年まで35人学級教職員費	8000万円
	高校遠距離通学費助成	5000万円

すぐに戦争をやめて！

ロシアによるウクライナ侵略を糾弾

奈良県議会が全会一致で決議を採択。犠牲者に黙とうをささげました

県議会は3月4日の本会議で、「ロシアのウクライナ侵略を非難する決議」を全会一致で採択。ウクライナの犠牲者に黙とうをささげました【左写真】。今も続く無差

別の攻撃は許せません。平和を守るために国際世論でロシアを包囲しましょう。

政府は、憲法9条を生かす平和の外交で人道支援をしっかりとこなうよう求めます。



ロシアのウクライナ侵略が始まったのが2月24日でした。このままでは多くの命が奪われてしまふ、毎日のニュースに心から怒りを覚えます★歌手のクミコさんがウクライナの友人とリアルに連絡を取る中で、家の近くが爆撃され、保育園が爆撃され、命からがら家族で隣国に避難。「こんな状況で歌うことに意味があるのか」と悩みます。加藤登紀子さんに相談すると、「もっと言葉を使う。言葉に曲をつける。その曲を歌うことで幸せが来る」とアドバイスを受けます●クミコさんは愛の歌をSNSで友人に届けます。友人から返事が。「歌を聞いて涙が出ました。泣くことでつらい気持ちが流れていきました」と。☆毎朝のニュースはまずウクライナ情勢です。勝った負けたを応援するような気持ちが芽生えます。国会では憲法審査会が開かれて9条改憲の流れが始まっています。■こんな時こそ原点に立ち返ることが必要。昭和22年文部省発行、あたらしい憲法の話、「戦争放棄とは捨ててしまふこと」です。しかし決して心細く思ふことはありません。日本は正しいことをほかの国より先に行ったのです。世の中に正しいことくらい強いものはありません」◆戦後76年平和が続いているのは奇跡です。その陰では二度と戦争を繰り返すなどという多くの国民の願いと9条があります。一人の力は微力ですが無力ではありません。思いを言葉に出しましょう★今いる場所、やれることで。戦争か平和かを問う参議院選挙まであと2か月です。

つづくと

予算委員会 今井光子議員の質問

県民の命、暮らし応援のあったかい予算編成を 41項目を取り上げ、県政全般について論戦

今井光子県会議員は予算委員会に入り、すべての部局に対して、41項目を取り上げ論戦しました。

奈良県議会ホームページ実況中継をご覧ください。

【奈良県議会HPトップから】
「議会インターネット中継」⇒「予算審査特別委員会」3月14日から18日



予算委員会で取り上げたこと

●県の組織がわかりづらい

他県では部や課の名前を見ればわかる。今年度新設する「奈良県ファシリティマネジメント課」は、いったい何をするとところなの。県庁内部でもまず担当部局を探すことから始めると聞く。名称を含めて、誰にでもわかりやすい組織にするべき。

●インボイス制度 中止するべき

県税収入77億円増加の予算が出ました。理由は株式譲渡税や法人2税が好調だったとのこと。一方、来年から導入される「インボイス制度」はこれまで非課税だった個人事業主に課税されるもの。シルバーをはじめ直売所、フリーターなど影響が大きい。中止するべき。

●通行者の安全確保 溝蓋設置を

広陵町赤部の溝蓋の設置、県道河合高田線歩道のないバス通りに溝蓋の設置を。

答弁 「今話を進めている」と前向き答弁。

●県産小麦で学校給食のパンを

小麦の価格が上昇。学校給食のパンにふさわしい小麦の栽培について、県で新種の小麦が開発された。どのように広げていくのか。

答弁 令和6年には県産新推奨小麦「はるみずき」に置き換わる予定。

●馬見丘陵公園を野鳥の公園に

馬見丘陵公園にはたくさんの野鳥がいる。地元の会員の皆さんが観察記録を作った冊子まで作っている。花は有名になったが、手入れが行き届きすぎると野鳥の営巣ができなくなる。

古墳と、花だけでなく野鳥も馬見丘陵公園の魅力の一つ。冊子を広く知らせるなど応援してほしい。

答弁 地元からも要望を聞いている。意見を聞きながら進めていきたい。

●無秩序なメガソーラー開発を止めるために

平群町のメガソーラー開発。「指導要綱」通りに進めば今のような災害の危険性など起きないはず。奈良県でも、要綱でなく、条例でしっかり対応するべき。

答弁 県では太陽光発電の条例を作る方向でいま検討中。

●学校に新聞を

学校教育に新聞を活かすことがすすめられています。小中学校で新聞を購読するよう提案。

答弁 第6次学校図書館整備5カ年計画では、中学校に3紙、小学校に3紙おけるように地方交付税で算定し予算化されている。その活用を各自治体に知らせていきたい。

●高校での演劇鑑賞をひろげよう

奈良県では高校の演劇鑑賞が全国でも最も低い実施状況。

奈良芸術家村ができ、ホールもあるのでそれらを活用しもっと高校生に生の演劇鑑賞をさせてほしい。

答弁 子どものための文化芸術鑑賞 体験再興事業に演劇も含まれており、普及していきたい。

●県庁職員の働き方

保健所など大変な状況。県庁職員で過労死ラインを超える人数はどれくらいか。人が足りないところは人を増やして過労死を生まないようにするべき。

答弁 月の残業が100時間を超える、もしくは3か月の平均が80時間を超える過労死ラインとしては、医師の相談を受けることになっているがその数は110人。

メガソーラーによる乱開発から住民生活を守れ！ 経済産業省、国土交通省、環境省に要望

日本共産党奈良県会議員団は4月20日、寄せられている県民の声や要望を政府の関係省庁に申し入れました。大門みきし参院議員、宮本岳志衆院議員が同席しました（右下写真）。

コロナ禍から医療従事者をはじめ県民の命と生活を守る対策の推進を求めて厚生労働大臣に要望書を提出。同省にはまた、国民健康保険事業で県単位化が進められるなか、市町村独自の保険料負担軽減策を認めるよう求めました。

国土交通省、経済産業省、環境省にはメガソーラーによる乱開発から住民生活を守るよう、平群町、山添村で進められているメガソーラー開発で起こっていることを具体的に示して強く要望しました。

国土交通省では同時に、五條市に計画されている「2000m滑走路建設」の必要制について国の認識をただし、東京・外環状道路建設の住宅地陥没事故から学び、奈良市内の京奈和自動車道大和北道路の大深度地下トンネル工事の見直しを求めました。

法務省には旧奈良監獄の保存活用で、きちんと保存管理計画を策定するよう求めました。



コロナ禍から医療従事者、県民の命を守る政府の対応求める 共産党県議団が厚生労働省、国土交通省、環境省など政府要望